

平成18年度病害虫発生予察指導情報
対象病害虫：ダイズ害虫（カメムシ類 3、フタスジヒメハムシ 3）

平成18年9月13日
鳥取県病害虫防除所

1 情報の内容

9月7日～8日、9月12日に行った県内巡回調査の結果は表1のとおりであった。カメムシ類の発生密度は、平年並であるが、発生ほ場率は平年より高いので、8月下旬～9月上旬にカメムシ類の防除を行っていないほ場で、発生が多い場合は防除を行う。また、フタスジヒメハムシの多発ほ場が散見されるので、発生が多い場合は防除を行う。

2 カメムシ類

(1) 発生状況

- ア 9月12日現在、ほ場ではホソヘリカメムシ、イチモンジカメムシの発生がみられる。発生の主体は、成虫と若齢幼虫である。
- イ 25株当たり平均成幼虫数は0.8頭（H13～17平均：1.0頭）であり、発生量は平年並となっているが、昨年（0.5頭）に比べると多い発生となっている。発生ほ場率は58.3%（H13～17平均：39.2%）であり、平年より高い（表1、表2）。

(2) 防除上注意すべき事項

- ア 8月下旬～9月上旬にカメムシ類の防除を行っていないほ場で、発生が多い場合は防除を行う。
- イ 近年、9月以降に密度が増加する傾向があるので、今後も発生状況に注意し、発生が多い場合は追加防除を行う。

3 フタスジヒメハムシ

(1) 発生状況

- ア 9月12日現在、発生ほ場率は97.2%（H16～17平均：79.2%）、25株当たり平均虫数は76.1頭（H16～17平均：59.7頭）で、平年に比べるとやや多い発生量となっている（表2）。
- イ 県東部および中部地区の一部の地域では、多発ほ場が散見されるので注意が必要である。

(2) 防除上注意すべき事項

発生が多い場合、カルホス粉剤で防除を行う。

表1 ダイズ害虫の発生状況（平成18年9月上旬）（単位：頭）

市町村	地点	カメムシ類	フタスジヒメハムシ
		25株当虫数	25株当虫数
鳥取市	上段	0.7	100.0
鳥取市（旧国府町）	玉銚	0.0	6.3
鳥取市（旧気高町）	下坂本	1.3	255.0
鳥取市（旧河原町）	佐貫	0.7	113.7
岩美町	大谷	0.3	129.0
倉吉市	中江	0.3	31.3
湯梨浜町	長和田	0.3	119.0
北栄町	原	0.7	3.0
米子市	春日	1.3	48.7
南部町	福成	0.7	31.7
大山町	坊領	1.3	23.3
江府町	宮市	1.0	51.3
H18年平均		0.8	76.1
H17年平均		0.5	98.8

注) 数値は各地の平均値。

表2 ダイズ害虫発生状況の平年値との比較（9月上旬）（単位：%、頭）

年	カメムシ類		フタスジヒメハムシ	
	発生ほ場率	25株当虫数	発生ほ場率	25株当虫数
H18年	58.3%	0.8	97.2%	76.1
平年値	39.2%	1.0	79.2%	59.7

注) カメムシ類の平年値はH13～17の平均値、フタスジヒメハムシの平年値はH16～17の平均値とした。